

レインボーブリッジ、お台場海浜公園&フジテレビ (2017/11/17)

Y.A.

爽やかな朝、レインボーブリッジを歩きます。今回は、新交通ゆりかもめの芝浦ふ頭を最寄り駅とする芝浦口から台場口への遊歩道（約 1.7km；無料）を歩いて渡る企画です。

好天に恵まれ、ノースルートの方歩道からは目の前に広がる東京湾の青い海と高層ビル群…眩しくも美しい光景、左に東京タワー、ビル群を挟んでのスカイツリー、雄大な景色に歩を止めてしばし見とれました。

東京は大都会だなあ～・・・ゴオオオ凄いい騒音と振動で我に返りました。そう、この橋は上下2層構造になっており、上層は首都高速道路、下層は中央部に「ゆりかもめ」が、そしてその両側に臨港道路（注1）が通る鉄道道路併用橋なのです。

日頃の行いが良いのか(?)暑いぐらいの天気、ノースルートから大都会東京のビル群を眺め、皆でおしゃべりしながら進み、途中でサウスルートに変更しました。お台場にあるフジテレビの球体展望室を持つ高層ビルが見えました。橋を渡り終えてから、江戸幕府がペリー率いる米国艦隊に備えるために築いた台場公園（第三台場：注2）に行きました。ここは、1辺が160メートル四方の石垣と土塁からなり、砲台跡・陣屋跡・火薬庫跡・かまど跡などを見て1周しました。その後、お台場海浜公園の砂浜を歩いてマリンハウスに進み、その裏側の高いビルで海を眺めながらの食事です。皆で近況を報告しあい、また次回の班で行きたい場所などを話しました。

最後は、フジテレビの建物です。長い長いチューブエスカレーターに乗り5階へ、更にエレベーター（550円）で25階の球体展望室「はちたま」に上りました。270°の東京湾スカイビューを満喫し、1階下の「めざましテレビ アクア」や「めざましテレビ」で実際に使用されているスタジオを見学しました。

注1：臨港道路（りんこうどうろ）とは、港湾法によって定められている、港湾内、あるいは港湾と周辺の公道を結ぶ道路です。道路法による道路ではありません。なお、港湾道路（こうわんどろ）ないし港湾道と呼ばれることもあります。

注2：台場公園（第三台場）(from http://haradr.com/rainbow/odaiba_02.html)

「お台場」の名で知られる品川台場は、江戸時代が黒船来襲にそなえて品川沖に築いた砲台跡です。設計者は伊豆葎山（にらやま）の代官・江川太郎左衛門で、ペリーが浦賀に来航した翌年の嘉永六年（1853）八月に着工、一年三ヶ月の間に六基が完成しました。

現在は、大正15年（1926）に国の史跡に指定された第三、第六台場だけが残されています。このうち第三台場は、昭和三年東京市（都）によって整備され、台場公園として開放されています。周囲には、海側から5～7mの石積みの土手が築かれ、黒松が植えられています。また内側の平坦なくぼ地には、陣屋、弾薬庫跡などがあります。





(from http://www.tptc.co.jp/cms/tptc/park/pages/pamphlet/odaiba_daiba.pdf)



レインボーブリッジ

- 橋長: 798m
- 中央径間: 570m
- 塔高: 126m
- 桁下: 52m



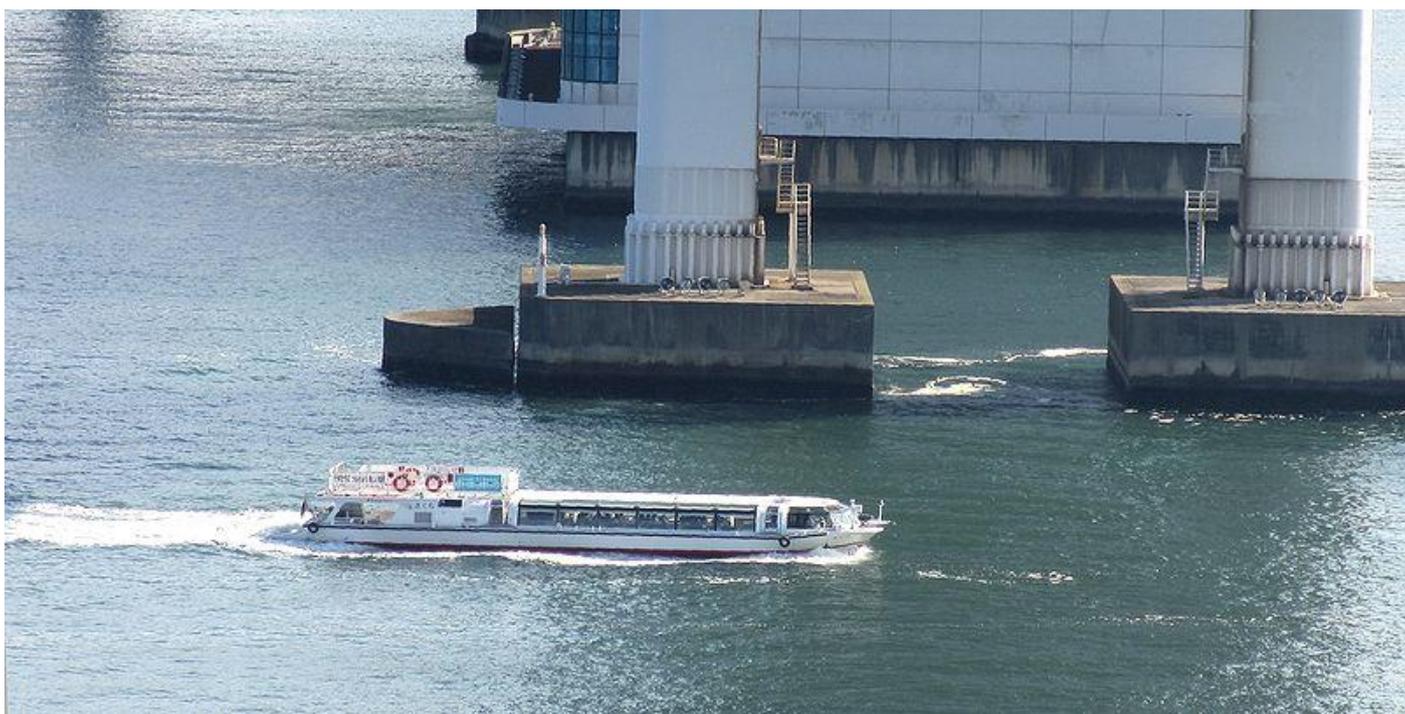
中央の赤白縞の高い塔は東京タワー



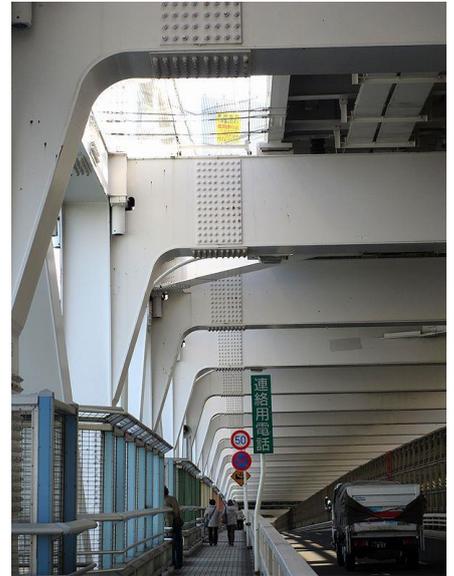
ビルの谷間の塔はスカイツリー：スカイツリー右側の2つの超高層ビルは The Tokyo Towers



左のビルの谷間にスカイツリーが見える



レインボーブリッジをくぐって通過する水上バス



豊洲市場



三角屋根ビルは晴海客船ターミナル：接岸の豪華客船は「コスタ・ネオロマンチカ」（イタリア籍）



水上バス：対岸の赤白縞の高い塔は東京タワー



球体展望室を持つフジテレビの高層ビル。手前右手は台場公園（第三台場）



台場公園（第三台場）：1辺が160メートル四方の石垣と土塁からなる。



台場公園の砲台跡



お台場海浜公園



おだibaビーチからのレインボブリッジ：手前は台場公園（第三台場）



フジテレビ25階の球体展望室から見たレインボブリッジ：対岸の赤白縞の高い塔は東京タワー